

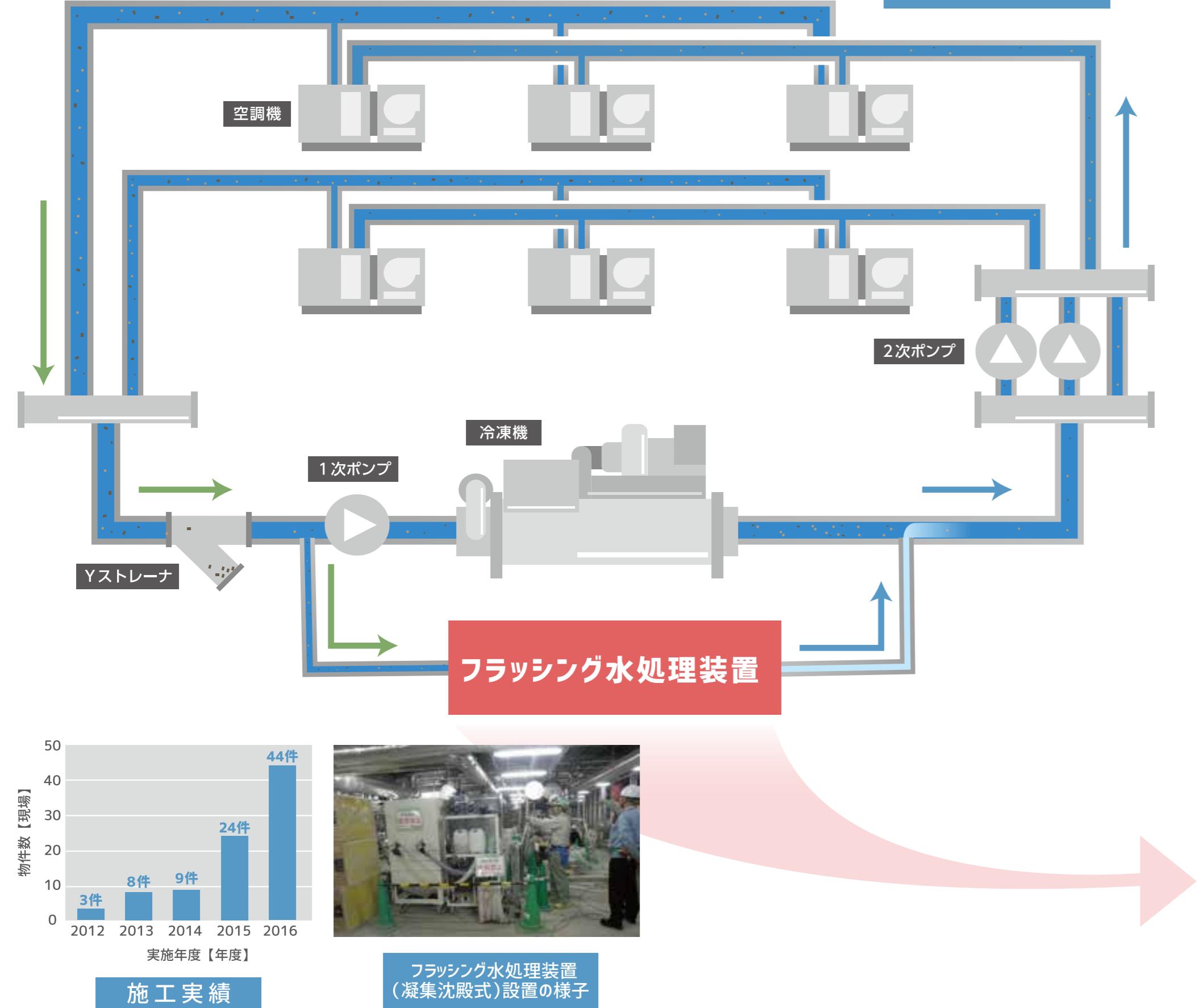
排水レスフラッシング®システム



工期短縮
省力化

配管系統の
初期腐食を
抑制

システム適用例

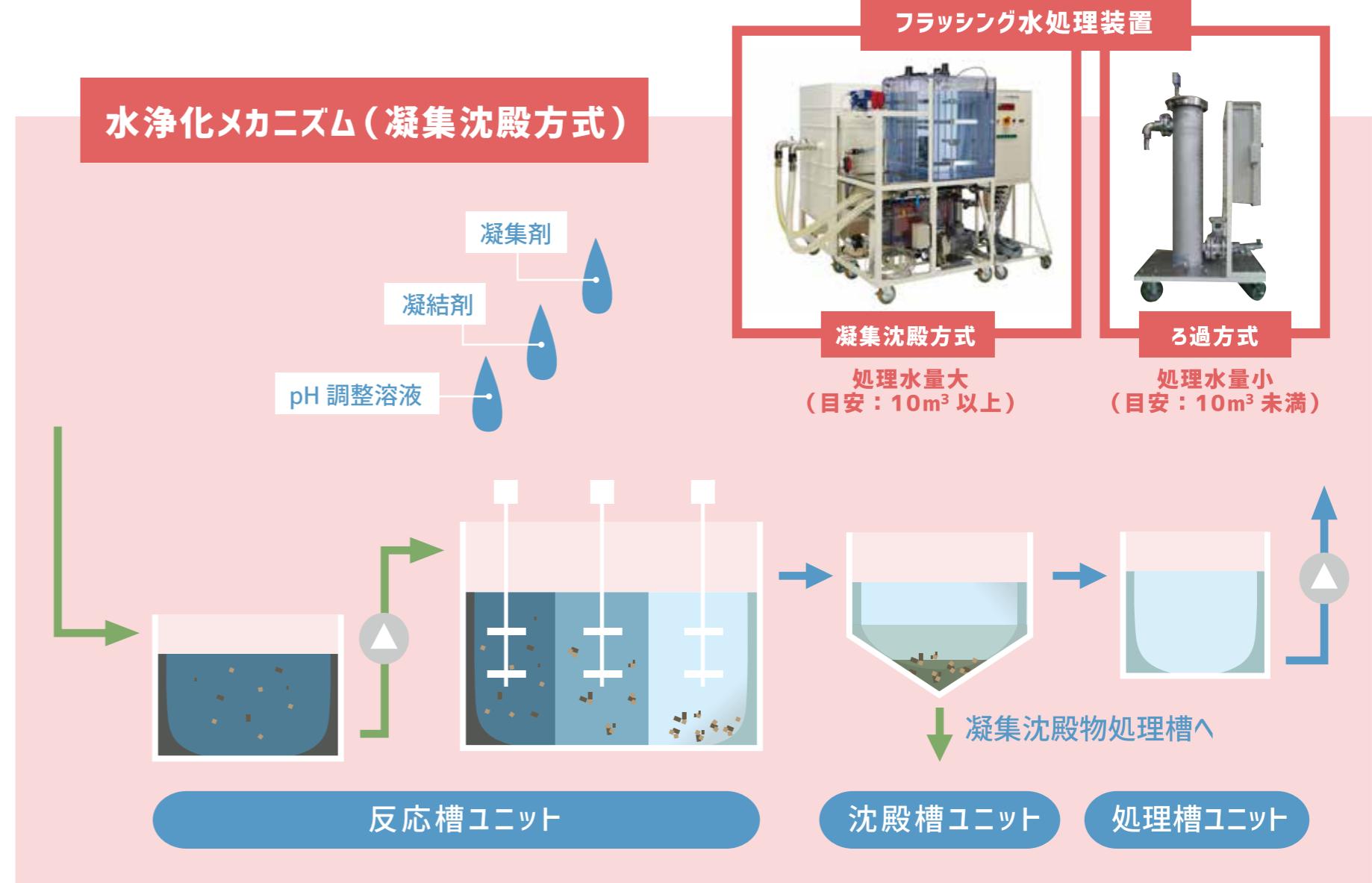


排水を一切出さないから
環境保全に大きく貢献

建築設備工事における配管フラッシングは、配管の保管時や施工時に入り込む異物、溶接作業で発生するスラグ及び酸化亜鉛などの除去を目的とした試運転調整前に行われる施工プロセスの一つです。従来からのフラッシングは、水の張替えとポンプ循環を複数回行うため、作業に多くの時間と労力を要します。また、排水するフラッシング水に高濃度の亜鉛が含まれており、環境に配慮した方法とは言えません。本システムはこれらの問題を解決することができました。既存配管に対しても適用できるため、建物配管の長寿命化にも貢献します。

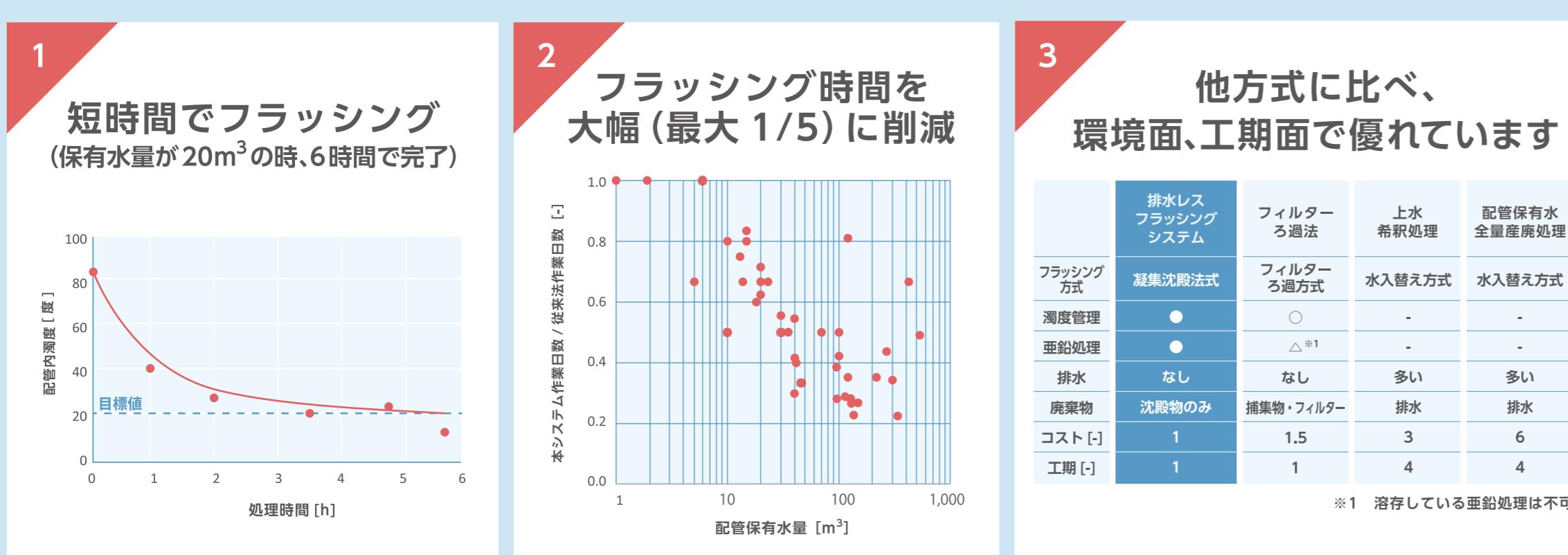
Flushing is a process that removes impurities such as slag and zinc oxides from within steel pipes. Normally, contaminated water from the flushing process is drained from the steel pipes. We have developed an environmentally friendly system that uses water treatment equipment to recycle this water, eliminating the need to drain off the resultant effluent. This technology is not only environmentally friendlier, but can also halve the work time required. Furthermore, because the water is not replaced, this technology also prevents early-stage corrosion in the pipes which, in turn, extends the service life of the building facilities.

水浄化メカニズム(凝集沈殿方式)



機能性

Functionality



評価表(自己評価)

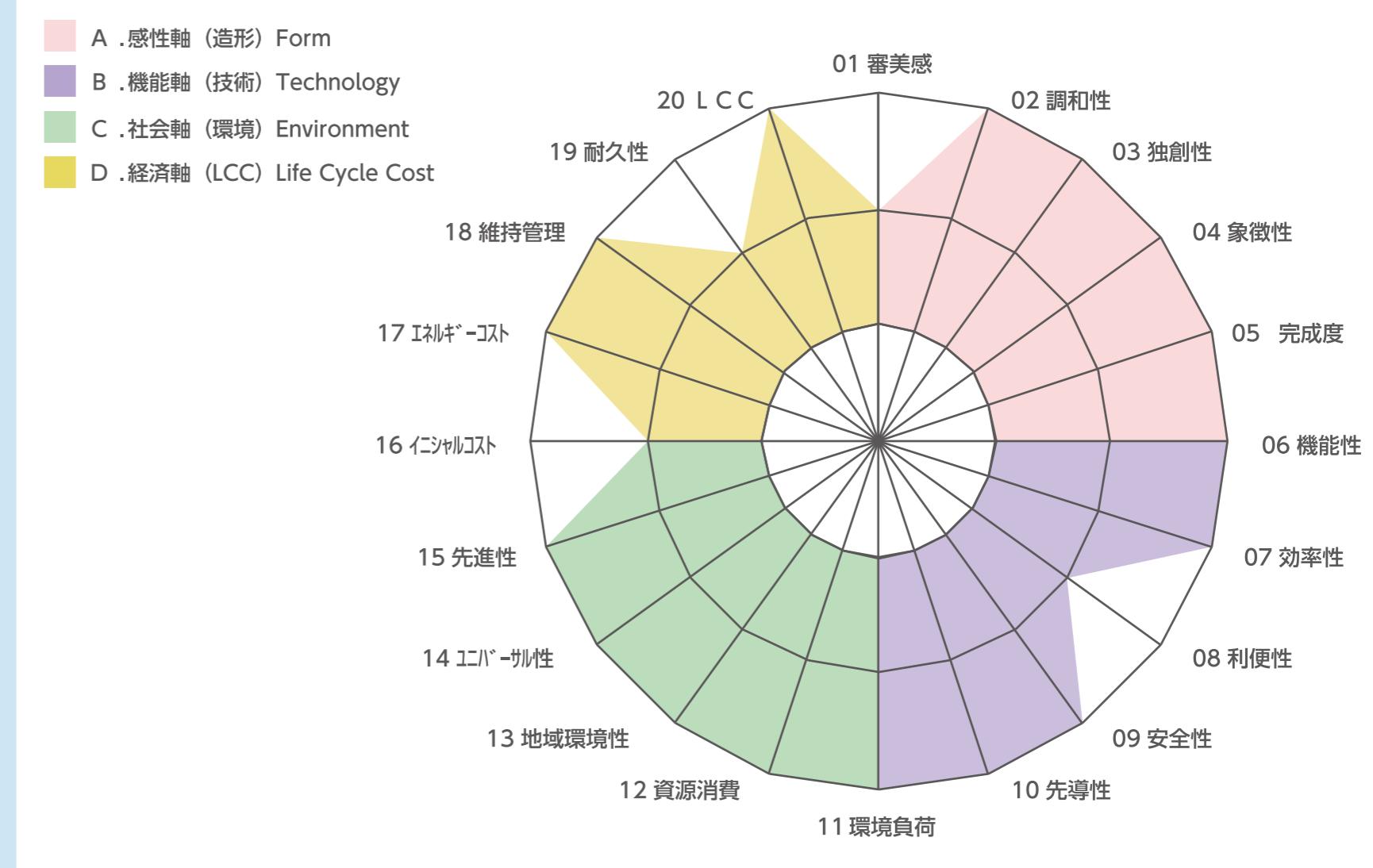
Environment & ME Design Evaluation Criteria (Self-evaluation)

評価項目	特に重視したデザインの観点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図 (既存のデザインに比較し、重視している部分・卓識している部分に関して具体的に記してください)		□自己評価値 普通 0 重視している +1 卓識している +2 小計
		01 審美感	02 調和性	
A. 感性輪 (造形) Form	03 独創性	★		
	04 象徴性			
	05 完成度	★		
	06 機能性	★		
B. 機能輪 (技術) Technology	07 効率性	★		
	08 利便性			
	09 安全性			
	10 先導性	★		
C. 社会輪 (環境) Environment	11 環境負荷	★		
	12 資源消費	★		
	13 地域環境性	★		
	14 ユニバーサル性	★		
D. 経済輪 (LCC) Life Cycle Cost	15 先進性	★		
	16 インパクトコスト			
	17 ランニングコスト	★		
	18 維持管理			

評価項目の解説

- 01 審美感【色や形・素材などが美しいと感じられること。】
- 02 調和性【周辺環境・建築計画と一体化し融合していること。】
- 03 独創性【デザインに独創性があること。】
- 04 象徴性【設計者のデザイン意図が象徴的に表現されていること。】
- 05 完成度【美しいや調和の面からデザインの完成度が高いこと。】
- 06 機能性【求められる機能が充足されていること。】
- 07 効率性【効率性が高いこと。】
- 08 利便性【使いやすく目的に合っていること。】
- 09 安全性【安全で危険がなく健安全むに配慮されていること。】
- 10 先導性【機能面で新たなデザインの方向性を示すこと。】
- 11 環境負荷【エネルギー消費を抑制し環境汚染、地球温暖化防止に配慮していること。】
- 12 資源消費【資源消費を抑制し、再生材及び再利用可能な材料を使用していること。】
- 13 地域環境性【地域環境の向上に寄与し、騒音・振動など負の影響を抑制していること。】
- 14 ユニバーサル性【機能や性能が年齢や性別・国籍を超えて通用すること。】
- 15 先進性【社会的・文化的価値を創出する先進性が認められること。】
- 16 インパクトコスト【環境への影響を考慮したコストが取扱っていること。】
- 17 ランニングコスト【運用のためのランニングコストが低いこと。】
- 18 維持管理性【維持管理が容易であること。】
- 19 耐久性【耐久性・耐久性・更新性に考慮されていること。】
- 20 LCC【ライフサイクルコストが低減できること。】

A . 感性輪 (造形) Form
B . 機能輪 (技術) Technology
C . 社会輪 (環境) Environment
D . 経済輪 (LCC) Life Cycle Cost

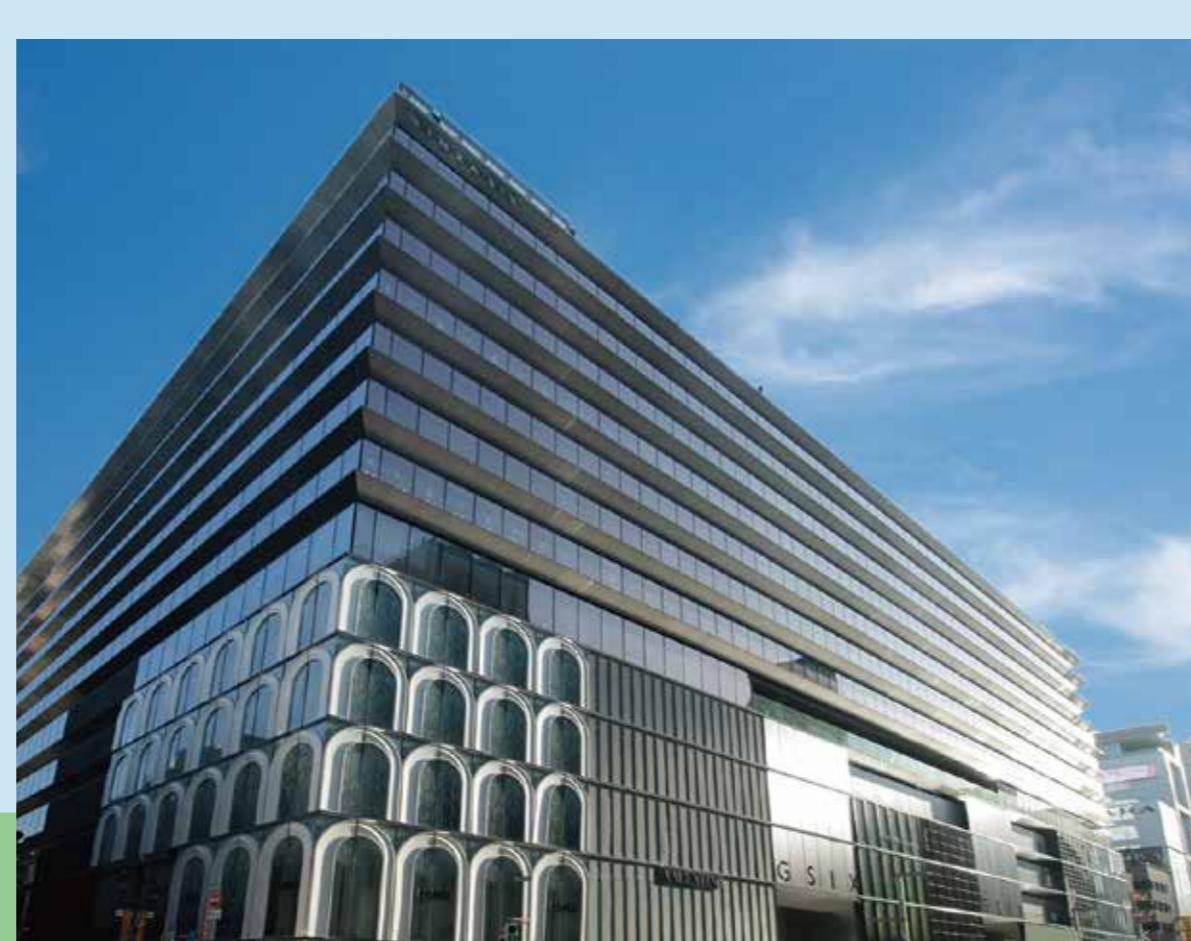


経済性

電力使用量と工事作業量の削減が可能な経済的なシステム

項目	削減量	削減効果
水使用量	100万m ³ /年 (3,300世帯分)	500百万円/年 ¹⁾
電力使用量	1GWh/年 (230世帯分)	20百万円/年 ²⁾
作業量	2万人工/年	600百万円/年 ³⁾

1) 上下水道料金 : 500円/m³として試算
2) 電力量料金 : 20円/kWhとして試算
3) 作業費 : 30,000円/人工として試算
※国内の空調設備工事物件 (500件/年) で
本システムを導入した場合の試算



社会性

- 省水化による CO₂ 削減
- 省力化による作業時間削減
- 既存配管への適用も可能で、リニューアルに貢献
- 大規模建築物にも数多く導入